

# 杖道について

H.KAWAHARADA

## 1) 杖道とは

杖道は杖（長さ約 128cm、直径約 2.4cm、重さ約 500 g の木製の丸棒）と、日本刀の代用である木刀（杖道では太刀（たち）と呼ばれる）とを用いて稽古する現代武道である。剣道と同じく全日本剣道連盟に加盟しているが、剣道と異なり、防具を着けて打ち合うような稽古は行なわない。杖道は形武道で、稽古は一人ないしは二人組で行う「基本動作」と、二人組で行う「形（かた）」を反復して稽古する。

疵つけず 人をこらして 戒むる 教えは杖の ほかにやはある  
突けば槍 払えば薙刀 持たば太刀 杖はかくにも 外れざりけり

と言われている。

## 2) 勝敗はいかに決するか

試合は 2 組で紅白に分かれ、決められた手順の形を演武し、審判員の評価（旗の多数決）で勝敗を決める。剣道のような自由に技を掛け合う試合ではない。

1974 年（昭和 49 年）から全日本杖道大会が開催されている。

今年で 43 年目だ。

## 3) 決定的なスナップショット





試合をみて気づいたこと

- ・道着が白か黒か
- ・県代表で一県につきどのくらい出ているのか？
- ・1 試合ってどのくらいの時間？
- ・男女混合の競技
- ・試合の回転率が早い
- ・年齢層が高い
- ・段ごとの戦い

試合は全日本剣道連盟の「杖道試合・審判規則」に則り、一級以下、及び初段から七段までの段別に分けて実施されている。